

大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

プログラム名	「平成29年度 国際交流担当者研修(受入担当者コース)」	
実施日時	2018年2月1日(木) 9:30~19:30 2月2日(金)9:30~12:00	
実施会場	キャンパスポート大阪ルームA	
担当講師名	①栗林知美(大阪府立大学 国際・地域連携課 総括主査) ②畑中みどり(大阪学院大学 国際センター 派遣留学コーディネーター) ③堀亜樹(桃山学院大学 国際センター 事務課 課長) ④塩川雅美(大阪市立大学 客員教授)	
講師略歴	<研修統括「④塩川雅美」の略歴> 民間企業勤務経験を経て1988年より大学職員となる。 主に中小の私学において「国際交流」「大学広報」「入試広報」「大学改革」を担当。 国立大学法人京都工芸繊維大学国際交流センター助教授として留学生対象の授業担当経験あり。 JAFSA常任理事および研修委員、大学行政管理学会監事、大学マネジメント研究会理事など歴任。	
受講可能人数	20~30名(同時開催の「派遣担当者コース」の人数と調整)	
主な受講対象者	意欲のある大学職員<所属部署不問> (特に「国際交流業務経験3年未満の者、または国際交流業務配置予定者」に有益)	
プログラム概要(目的)	この研修では、留学生受入担当者としての基礎知識、心構え、態度などについて学び、自大学における「留学生受入業務」の拡充ができるようにすることを目的とします。	
プログラムの到達目標	①外国人留学生の種類を述べることができる。 ②留学生の受入れに必要な「入国手続き」「在留手続き」を述べることができる。 ③オン・キャンパスの留学生支援業務を述べることができる。 ④オフ・キャンパスの留学生支援業務を述べることができる。 ⑤留学生と日本人学生、地域との交流の事例を述べることができる。	
プログラム内容	時間(90分~180分)	内 容
	(2月1日)	
	1-1 9:30~11:30	入国手続き・在留手続き(大阪地方入国管理局の講演)
	1-2 11:35~12:35	留学生受入のA to Z
	1-3 13:35~14:35	受入れ留学生支援事業の事例
	1-4 14:50~15:50	大学職員の業務の国際化
	1-5 16:00~16:30	海外SD研修(台湾・台北)報告
	1-6 16:30~17:00	振り返り
	(2月2日)	
	2-1 9:30~10:00	派遣学生向け準備教育と受入学生向け教育
	2-2 10:00~10:30	地域と留学生の交流
	2-3 10:40~11:10	バディー制度の紹介、宿所での日本人学生と外国人の交流機会の提供(事例紹介)
	2-4 11:20~12:00	振り返り
	事前課題	特になし。
事後課題	なし。 「1-1入国手続き・在留手続き(大阪地方入国管理局の講演)」の受講者で「申請取次者」の認定を受けていない者は、受講後、所属大学所在地を所管する地方入国管理局に申請し、認定を受けることが望ましい。	
受講にあたっての連絡事項等	「1-1入国手続き・在留手続き(大阪地方入国管理局の講演)」の受講は、すでに「申請取次者」の認定を受けている場合などもあるので、受講者が受講するかしないか選択可能。	

大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

プログラム名	「平成29年度 国際交流担当者研修(派遣担当者コース)」	
実施日時	2018年2月1日(木)14:50~19:30 2月2日(金)9:30~17:00	
実施会場	キャンパスポート大阪ルームA	
担当講師名	①栗林知美(大阪府立大学 国際・地域連携課 総括主査) ②畑中みどり(大阪学院大学 国際センター 派遣留学コーディネーター) ③堀 亜樹(桃山学院大学 国際センター 事務課 課長) ④松井健太郎(大阪経済大学 教学・国際部 国際交流課) ⑤塩川雅美(大阪市立大学 客員教授)	
講師略歴	<研修統括「⑤塩川雅美」の略歴> 民間企業勤務経験を経て1988年より大学職員となる。 主に中小の私学において「国際交流」「大学広報」「入試広報」「大学改革」を担当。 国立大学法人京都工芸繊維大学国際交流センター助教授として留学生対象の授業担当経験あり。 JAFSA常任理事および研修委員、大学行政管理学会監事、大学マネジメント研究会理事など歴任。	
受講可能人数	20~30名(同時開催の「受入担当者コース」の人数と調整)	
主な受講対象者	意欲のある大学職員<所属部署不問> (特に「国際交流業務経験3年未満の者、または国際交流業務配置予定者」に有益)	
プログラム概要(目的)	この研修では、留学生派遣担当者としての基礎知識、心構え、態度などについて学び、自大学における「留学生派遣業務」の拡充ができるようにすることを目的とします。	
プログラムの到達目標	①派遣留学の種類を述べることができる。 ②派遣プログラムの企画、運営のプロセスを説明できる。 ③渡航前教育、帰国後の事後教育の企画、運営のプロセスについて説明できる。 ④派遣プログラムのリスクマネジメントの必要性について述べるができる。 ⑤留学生と日本人学生、地域との交流の事例を述べるができる。	
プログラム内容	時間(90分~180分)	内 容
	(2月1日)	
	1-1 14:50~15:50	大学職員の業務の国際化
	1-2 16:00~16:30	海外SD研修(台湾・台北)報告
	1-3 16:30~17:00	振り返り
	(2月2日)	
	2-1 9:30~10:00	派遣学生向け準備教育と受入学生向け教育
	2-2 10:00~10:30	地域と留学生の交流
	2-3 10:40~11:10	バディー制度の紹介、宿所での日本人学生と外国人の交流機会の提供(事例紹介)
	2-4 11:20~12:00	振り返り
	2-5 13:00~14:00	学生派遣の A to Z
	2-6 14:10~15:10	派遣プログラム紹介
	2-4 15:20~16:20	学生派遣の リスクマネジメント
2-5 16:30~17:00	振り返り	
事前課題	特になし。	
事後課題	なし。	
受講にあたっての連絡事項等	なし。	